

インドネシア活動報告④

株式会社マジオネット
JICA 青年海外協力隊 2016 年度 2 次隊
山口 麗子

【今月(5/13~6/13)の活動】

- ・活動計画書作成
- ・JICA インドネシア隊員機関誌作成
- ・JICA インドネシア隊員総会
- ・ジャカルタ環境展覧会

◎活動計画書作成

この 1 か月は学校巡回を 1 回も行うことができなかった。一緒に巡回をしてくれている職員の意欲が低下しており、今後の巡回も継続できるのかが不透明になってきたため、自身の考えを加えた活動計画書を作成し、配属先部署職員と上司への意志疎通を図った。結果、計画については概ねの理解を得ることができた。これまでは配属先職員が作ったスケジュールに合わせて活動していたが、今後は自身でスケジュールを作成し、巡回していく予定である。

◎JICA インドネシア隊員機関誌作成

5 月 27 日から 6 月 1 日まで任地ロンボク島を離れ、ジャカルタにて編集作業を行った。6 月中旬発行予定であったが、作業は予定よりも早く進み、ジャカルタ滞在期間中に機関誌を発行することができた。次回は 12 月の発行予定で、次号より新委員長として活動を引き継ぐこととなった。今回学んだことを活かしてより良い機関誌を作り上げていきたいと考えている。

◎JICA インドネシア隊員総会

6 月 3 日、JICA インドネシア隊員総会が行われた。現在、インドネシアには 24 名の協力隊員と 4 名のシニア協力隊員が派遣されている。四半期ごとに新隊員と帰国隊員の入れ替わりがあるので、半年に一度、全隊員が首都ジャカルタに集い、お互いの活動状況についての情報交換や隊員間の規定について協議を行う総会が開かれている。普段は任地にて 1 人で活動しているため、精神的にも落ち着ける良い機会となった。また、総会前日には



隊員総会集合写真

派遣されて 1 年目の隊員と帰国隊員の報告会も行われた。今回は看護師 1 名、栄養士 1 名、公衆衛生 2 名、デザイナー 1 名、ソーシャルワーカー 1 名、養殖 1 名が報告を行った。

◎ジャカルタ環境展示会

総会時期にちょうど会場近くで環境展示会が行われていた為、総会前の時間を使って参加した。インドネシア国内の環境局を始め、環境に関連する民間企業やごみ銀行などが出展しており、大変盛況な様子であった。子供たちの関心を惹きつける為のゲームや体験教室など学校巡回でも使えそうな情報を多く得ることができた。



【日常生活について～ラマダン～】

◎ラマダン(断食期間)とは

日の出前の朝 4 時～5 時の間にサフル(朝食)を食べ、日没後の午後 6 時まで食事、水分補給、喫煙の一切が禁止される。ムスリムの義務の一つ。断食自体はプアサという。

5 月 27 日よりインドネシアではラマダンに入った。しばらくは首都生活が続いたので、その変化を感じることは少なかったが、任地ロンボク島のゲルンは住民の 9 割がイスラム教徒であるため、ほぼ強制的にラマダンに合わせた生活になってしまう。日中は飲食店が全て閉まり、職場内でも人前で飲食することはタブーとされている。私自身もジャカルタからの帰任後、断食に挑戦してみたが、勤務中、集中力は保てず常に眠気もあり、活動に支障があった為、2 日で諦めた。同僚は、断食しない私のことを理解してくれており、昼食の時間には彼らはプアサ中であるにも関わらず、私の為に食事や飲み物を用意してくれている。

【交通面について～首都ジャカルタ～】

今回は、首都に上京したので、ジャカルタの交通事情について報告する。首都であるジャカルタは世界最大の渋滞都市と言われているほど交通量が多く、渋滞時は徒歩 5 分で行ける場所に行くにも 1 時間かかると言われている。渋滞を緩和しようと政府がとっている方策の一つに公共交通機



関の整備があり、現在、バス・地下鉄・新幹線の為の工事が至る所で進められているが、この工事がさらに渋滞を悪化させている。また、インドネシア人は渋滞であっても、時間は気にせず、車で移動することがステータスだと感じている為、単に環境を整えるだけでは変わらないと考えられる。ジャカルタの渋滞緩和までの道のりはまだ遠い。(ラマダンのこの時期は日中に外出する人が少ないようで、珍しくひどい渋滞にあうことなくスムーズに移動することができた。(写真))